

健康長寿社会の実現探る

名古屋で医学会総会

市民と対話、社会に成果示す

第30回日本医学会総会が4月27〜29日の3日間、「医学と医療の深化と広がりー健康長寿社会の実現をめざして」をメインテーマに、名古屋市の名古屋国際会議場を主会場に開かれた。1902年以来、4年に1回開かれ約120周年を迎えた総会は、中部8県の医科大学、県医師会のオール中部体制で開催。四つの柱からなるプログラム

開会式で齋藤英彦会頭は、3月30日から4月7日までポルトメッセなどで開催した市民展示「健康未来EXPO」に言及。「多くの親子連れが訪れて参加者30万人を超え、医学会の目的の一つである市民への医学医療、健康情報をお届けること、市民との対

話に成功したと思う」と成果に自信を示した。その上で、「世界有数の長寿国となった日本だが、平均寿命と健康寿命に大きな差がある」と指摘。「人口減少により、医療介護の担い手不足、医療費や介護費用の増加による社会保障の持続性が大きな問題。さらに、ゲノム医療や人工知能等の革新技術が臨床応用され、これまでの常識が生命倫理の枠を超える可能性があり、かつてないほど社会のコンセンサスを得ることが必要な時代にある」と式辞を述べた。

盛大に開かれた開会式



来賓として出席した日本医師会の横倉義武会長は、「政府が5年後に発行する新10000円札の肖像画に日本医師会の初代会長の北里柴三郎先生を採用すると発表があった。北里先生は、1902年に開催された医学会総会の前身である第1回日本連合医学会の副会頭



薬事日報社

東京本部 〒101-8648 東京都千代田区神田和泉町1-1
電話 (03) 3862-2141
FAX (03) 5821-8757
大阪支社 〒541-0045 大阪府中央区道修町2-1-10
電話 (06) 6203-4191
FAX (06) 6233-3681
購読料 半年18,300円 1年33,550円 (税別)

きょうの紙面

- 3件の一変報告
- 医薬品第1 ……②
- 薬剤師セッション
- 医学会総会 ……③
- A | 医療機器で提携
- 塩野義製薬 ……⑦
- 特集 ④~⑤
- 〈ドリンク剤〉

本号8ページ

人生100年へ予防推進



齋藤会頭

4月27日の会頭講演で齋藤会頭が「医学・医療と生老病死・不変の精神と技術革新」をテーマに論じた。齋藤氏は、平均寿命の伸びと先端医療の登場を列挙し、高齢化と共に高まる医療費の増加により、国民皆保険制度の危機にあると指摘。その解決策として疾病予防・介護予防の推進などを提言した。

会頭講演で提言

齋藤氏は、先進国の平均寿命に言及。特に100歳以上の「百寿者」が1963年に153人だったのが2018年には6万978人に急増していることを指摘。日本の比較的平等な社会、経済発展、医療制度が平均寿命の伸びに貢献してきたとの認識を示した。

無季言

◆日本の製薬企業がアジアに狙いを定め始めた。最大の標的は世界第2位の中国市場だ。アステラス製薬はアジア・オセアニアの一部だった中国を独立した事業領域として昇格。エーザイは欧米と同時期に新薬を投入し、蘇州に新工場を設立するなど、米に続く第3の市場に育

規制当局間の新薬承認審査プロセスを共有化する

◆グローバル化の波に翻弄され、後手の対応に回ってきた平成年間を教訓に、令和時代は日本が持つ技術や製品、制度を国際標準にしていこう。この姿勢が必要になる。地の利を生かせるアジア市場で勝つための知恵を絞

昭和薬科大

都住宅供給公社と連携協定

高齢住民と学生の交流支援

昭和薬科大学と東京都住宅供給公社は4月25日、大学の近隣地域活性化と学生の学的人材育成を目的とする連携協定を締結した。高齢化

の進展による地域コミュニティの衰退を課題としていた公社が、以前から地域連携事業に取り組んでいた昭和薬大と連携を持ちかけ、

今回の協定締結が実現した。大学近くに位置し、公社が管理する町田市の本町田住宅の住民と学生の交流を支援するほか、住民との

交流を条件に家賃を割り引いて学生入居を促す考え。既に2人の学生が入居の意思を示しているという。連携協定では、本町田住



協定書に調印した元木理事長(左)と千葉理事

臨床に役立つ知識満載の『漢方実践書』

基礎からの漢方薬

第4版

医療用漢方製剤 構成生薬解説

「漢方医学」、「漢方の基礎理論」、「調剤、服薬指導」、「生薬・方剤」などを図表やカラー写真を多数使い、わかりやすく解説。

著 金成俊 / B5判 / 340頁 / 定価 5,000円 + 税



詳細はこちら

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ(https://yakuji-shop.jp/)または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。

当ファイルの著作権は(株)薬事日報社またはコンテンツ提供者に帰属します。当ファイル(印刷物含む)の利用は私的利用の範囲内に限られ、それ以外の無断複製・無断転載・無断引用はご遠慮ください。当ファイル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください。

株式会社薬事日報社 TEL:03-3862-2141 shinbun@yakuji.co.jp http://www.yakuji.co.jp/